

訓練カリキュラム

訓練実施機関名： クレセント株式会社

(様式A-9)

訓練の種類	☐	基礎コース ()			就職を想定する職業・職種			
	☒	実践コース (02 IT分野)						
	☐	職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	☐	託児サービスコース		☐	短時間訓練コース	
	☐	「企業実習促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	☐	「情報通信機器整備奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入		☐	「職場見学等促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	
訓練科名	ゼロから学ぶPythonプログラミング科(eラーニングA) ※40文字以内で記入してください。				社内エンジニア・ソフトウェアプログラマー			
募集期間(予定)	令和8年8月28日 ~ 令和8年10月20日							
選考日(予定)	令和8年10月26日							
選考方法	☒	面接	☐	筆記試験	☒	その他 (適性検査(PCIにて実施)、作文(メールにて提出))		
選考結果通知日	令和8年10月29日							
訓練期間	令和8年11月12日 ~ 令和9年3月11日 (4 か月) (訓練日数 120 日)							
訓練時間	9 時 10 分 ~ 15 時 40 分				訓練定員 15 名			
訓練対象者の条件	①育児・介護中の者、②居住地域に訓練実施機関がない者、③在職中の者等、訓練の受講に当たり特に配慮を必要とする者 自宅にパソコン等の情報通信機器を備え、通信費の負担ができる者、キーボード操作ができる者							
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	☐	新規学校卒業生	☐	ニート等の若者	☐	障害者	☐	母子家庭の母等
	☐	被災者	☐	外国人	☐	その他 ()		
訓練目標 (仕上がり像)	情報サービス事業者や社内エンジニアとして、Python言語を用いたソフトウェア開発の基本作業が行えることを目指す。							
訓練修了後に取得 できる資格	名称 (Python3エンジニア認定基礎試験)	認定機関 ((一社)Pythonエンジニア育成推進協会)	☒	任意受験				
	名称 ()	認定機関 ()	☐	任意受験				
	名称 ()	認定機関 ()	☐	任意受験				
	名称 ()	認定機関 ()	☐	任意受験				
	名称 ()	認定機関 ()	☐	任意受験				
①IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)					☐			
②WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)					☐			
③DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)					☐			
訓練内容	訓練概要	ソフトウェア開発におけるPythonプログラミング、基本設計、詳細設計に関する知識及び技能・技術を習得する。【eラーニングコース・オンライン対応コース】[IT資格][DSS対応] 11/12・3/11は9:10~13:40、1/25・2/1は12:40~15:30まで訓練実施						
	科目	科目の内容			訓練時間			
	学科	安全衛生	心身の健康管理、整理整頓の原則、システム開発現場における安全衛生の事例			2時間		
		設計の知識	手続き型プログラミング、オブジェクト指向設計			6時間		
		プログラミング概論	プログラミング手法、言語の仕様、コーディング規約			7時間		
		ネットワーク概論	インターネットの基礎知識、Webサイト表示までの流れ、規約・robots.txtの確認、Webスクレイピングとは、データの盗用、スクレイピングによるデータへのアクセス・利用の禁止事項や留意事項			7時間		
		機械学習概論	機械学習とは、AIと機械学習、機械学習とPython、機械学習における数学(基礎、線形代数、微分・積分)			47時間		
		就職支援	履歴書や職務経歴書などの応募書類の書き方、ジョブ・カードの作成支援、面接の受け方の指導、AIを活用した自己PRの整理			16時間		
		実技	プログラミング基礎演習	開発環境導入と基本設定、対話モードによる動作、規約にのっとりコーディング、エディタを使用した動作確認、変数の使用、基本文法(順次処理、条件分岐処理、繰り返し処理、呼び出し処理)、標準ライブラリ、エラー修正(使用言語:Python)			79時間	
	プログラミング応用演習		GUIの作成、サードパーティのライブラリの活用、各種ファイルのプログラムによる自動作成・編集操作(テキストファイル、PDFファイル、Wordファイル、Excelファイル等)、オブジェクト指向によるプログラミング(使用言語:Python)			98時間		
	アプリケーション作成演習		仮想環境の構築、サードパーティのライブラリの管理、exeファイルの作成(使用言語:Python)			17時間		
	Pythonエンジニア認定基礎演習		標準ライブラリの各種モジュールの動作、コマンドによるスクリプトの実行、実行時の変数の動作、オブジェクト指向プログラミングの動作、例外処理(使用言語:Python)			61時間		
	AIプログラミング活用演習		生成AI(ChatGPT等)の基本的な活用方法、プログラム作成の補助、個人情報データの保護、著作権の保護、コードの改善提案(Pythonを使用)			7時間		
	機械学習演習		機械学習に係るライブラリの活用(行列計算、データ処理、データプロット)、自然言語処理(使用言語:Python)			6時間		
	企業実習		☒	実施しない	実施する	※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。		
	職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】「企業が求める人材像について、職場におけるコミュニケーション等」 中川五月、南貴文			6時間			
	訓練時間総合計 (うち通所訓練時間計 0時間)	学科 85時間	実技 268時間	企業実習 0時間	職場見学等 6時間			
※うち数は通所訓練を含むeラーニングコースに限り記載								
受講者の負担する費用	教科書代	5,830円			合計 5,830円			
	その他 ()							
	備考 (訓練受講のための通信費 実費)							
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する ☒ eラーニングコース						
		オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混在型) ☒ オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型) ☐			オンライン計 39時間			
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	対面指導時にZOOMを使い視覚的に理解しやすいように工夫する。講義及びテキストの受動的な学習だけでなく、実践的なテキストを活用することにより、実務での即戦力を目指して指導する。						
受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	PDCA管理を徹底し、講師と訓練生の双方向のプロセス管理を行い個別の目標に沿った支援を行う。学習の進捗度の把握、及び就職活動の状況確認や応募書類の添削フォローや応募先に応じた面接指導も行うなどきめ細やかな就職支援を行う。							

※1 企業実習を予定している場合は、様式第10～12号を作成のうえ提出してください。
※2 様式第6号の「推奨訓練日程計画表」を添付してください。
※3 訓練推奨者欄には、特に訓練を推奨する対象がある場合に、当てはまるもの全てのチェック欄(□)に✓を記入してください。
「その他」の場合は、「訓練対象者の条件」欄に内容を記入してください。特にない場合はチェックは不要です。
※4 「職場体験」、「職業人講話」、「職場見学」については、それぞれの時間数が分かるように記入してください。
※5 訓練時間には、キャリアコンサルティング等の時間は含まれませんので、除いて記入してください。
※6 「オンライン計」については、80時間算定対象訓練のうちオンラインで実施する訓練時間数を計上して下さい。